

市内遺跡確認調査概要報告書 XIII

— 神埼市内埋蔵文化財確認調査（令和元年度）の概要 —

八子六本黒木遺跡21区

2021

神埼市教育委員会

市内遺跡確認調査概要報告書 XIII

— 神埼市内埋蔵文化財確認調査（令和元年度）の概要 —

八子六本黒木遺跡21区

2021

神埼市教育委員会

は　じ　め　に

神埼市には、旧石器時代より現代まで、多くの遺跡が存在しており、その密度の高さと重要性は、市民の皆様はじめ多くの方々にご理解を頂いていることと存じます。

神埼市教育委員会では、各種開発に伴いこれらの貴重な文化財を守ると共に、各種開発との調整を図るために確認調査を進めてまいりました。

この報告書は、各種開発による工事に先立ち、令和元年度に神埼市教育委員会が行いました市内遺跡確認調査の概要及び神埼町城原地内における事務所建設に伴い浄化槽工事が予定されている八子六本黒木遺跡21区発掘調査の概要をまとめたものです。

本書が、今後の文化財保護行政の資料として皆様に活用して頂きますことを願っております。

最後に、市内遺跡確認調査に際しまして、ご協力をいただきました関係各位に対しまして、深くお礼を申し上げます。

令和3年3月

神埼市教育委員会

教育長 末 次 利 明

例　　言

1. 本書は、国庫補助金を受けて令和元年度に実施した確認調査の概要報告及び神埼市神埼町城原地区内の事務所建設に伴う合併浄化槽設置における発掘調査報告を、国庫補助金を受けて令和2年度に作成したものである。
2. 確認調査及び発掘調査は、神埼市教育委員会の職員が行った。
3. 遺物の整理、実測、製図は、神埼市教育委員会が行った。
4. 本書の執筆は、島が行い、編集は、島、高柳が行った。

凡　　例

1. 本書に用いた地図は、上が北を示し、方位は座標北または、磁北を用いたものもある。
2. 本書に用いた番号は、前の数字が調査年度を表し、後の数字が各年度の通し番号とした。
3. トレンチ配置図に黒塗りで示した場所は、トレンチ（試掘穴）の地点を示す。
4. 遺跡名の後の番号は、遺跡番号を示す。
5. 本文中に記した遺構記号は、SX：不明遺構、P：小穴、を表している。

組織（令和元年度　調査）

調査主体 神埼市教育委員会

教育長	末次	利明
部長	家永	秀文
課長	合田謙三郎	社会教育課
副課長	桑原	幸則
係長	佐藤	健一
主事	島	佑輔
嘱託	高柳	信敏

組織（令和2年度　整理作業）

調査主体 神埼市教育委員会

教育長	末次	利明
部長	牛島	弘幸
課長	合田謙三郎	社会教育課
副課長	桑原	幸則
係長	佐藤	健一
主事	島	佑輔
嘱託	高柳	信敏

調査指導 佐賀県文化・スポーツ交流局 文化課 文化財保護室

発掘作業員

伊藤　樹	手塚かつよ	西村　潤二	野口　厚子	野田　絹代	山崎　久枝	山口　昌平
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

整理作業員

伊藤　樹	服部　記子	野田　絹代
------	-------	-------

目 次

1. 遺跡の立地と環境	1
①自然的環境	1
②歴史的環境	1
2. 令和元年度の確認調査	6
3. 八子六本木遺跡21区（本調査）	39

表 目 次

第1表 令和元年度確認調査実施地区一覧表	3
第2表 令和元年度確認調査地出土遺物観察表	25
第3表 八子六本木遺跡21区出土遺物観察表	41

挿 図 目 次

第1図 神埼市遺跡地図	2	第38図 1-12トレンチ配置図	11
第2図 神埼町確認調査位置図	4	第39図 1-12基本土層図	11
第3図 千代田町確認調査位置図	5	第40図 1-13位置図	12
第4図 1-1位置図	6	第41図 1-13トレンチ配置図	12
第5図 1-1トレンチ配置図	6	第42図 1-13基本土層図	12
第6図 1-1基本土層図	6	第43図 1-14位置図	12
第7図 1-2位置図	6	第44図 1-14トレンチ配置図	12
第8図 1-2トレンチ配置図	6	第45図 1-14基本土層図	12
第9図 1-2基本土層図	6	第46図 1-15位置図	13
第10図 1-3位置図	7	第47図 1-15トレンチ配置図	13
第11図 1-3トレンチ配置図	7	第48図 1-15基本土層図	13
第12図 1-3基本土層図	7	第49図 1-16位置図	13
第13図 1-4位置図	7	第50図 1-16トレンチ配置図	13
第14図 1-4トレンチ配置図	7	第51図 1-16基本土層図	13
第15図 1-4基本土層図	7	第52図 1-17位置図	14
第16図 1-5位置図	8	第53図 1-17トレンチ配置図	14
第17図 1-5トレンチ配置図	8	第54図 1-17基本土層図	14
第18図 1-5基本土層図	8	第55図 1-18位置図	14
第19図 1-6位置図	8	第56図 1-18トレンチ配置図	14
第20図 1-6トレンチ配置図	8	第57図 1-18基本土層図	14
第21図 1-6基本土層図	8	第58図 1-19位置図	15
第22図 1-7位置図	9	第59図 1-19トレンチ配置図	15
第23図 1-7トレンチ配置図	9	第60図 1-19基本土層図	15
第24図 1-7基本土層図	9	第61図 1-20位置図	15
第25図 1-8位置図	9	第62図 1-20トレンチ配置図	15
第26図 1-8トレンチ配置図	9	第63図 1-20基本土層図	15
第27図 1-8基本土層図	9	第64図 1-21位置図	16
第28図 1-9位置図	10	第65図 1-21トレンチ配置図	16
第29図 1-9トレンチ配置図	10	第66図 1-21基本土層図	16
第30図 1-9基本土層図	10	第67図 1-22位置図	16
第31図 1-10位置図	10	第68図 1-22トレンチ配置図	16
第32図 1-10トレンチ配置図	10	第69図 1-22基本土層図	16
第33図 1-10基本土層図	10	第70図 1-23位置図	17
第34図 1-11位置図	11	第71図 1-23トレンチ配置図	17
第35図 1-11トレンチ配置図	11	第72図 1-23基本土層図	17
第36図 1-11基本土層図	11	第73図 1-24位置図	17
第37図 1-12位置図	11	第74図 1-24トレンチ配置図	17

第75図	1-24基本土層図	17	第100図	1-33位置図	22
第76図	1-25位置図	18	第101図	1-33トレンチ配置図	22
第77図	1-25トレンチ配置図	18	第102図	1-33基本土層図	22
第78図	1-25基本土層図	18	第103図	1-34位置図	22
第79図	1-26位置図	18	第104図	1-34トレンチ配置図	22
第80図	1-26トレンチ配置図	18	第105図	1-34基本土層図	22
第81図	1-26基本土層図	18	第106図	1-35位置図	23
第82図	1-27位置図	19	第107図	1-35トレンチ配置図	23
第83図	1-27トレンチ配置図	19	第108図	1-35基本土層図	23
第84図	1-27基本土層図	19	第109図	1-36位置図	23
第85図	1-28位置図	19	第110図	1-36トレンチ配置図	23
第86図	1-28トレンチ配置図	19	第111図	1-36基本土層図	23
第87図	1-28基本土層図	19	第112図	1-37位置図	24
第88図	1-29位置図	20	第113図	1-37トレンチ配置図	24
第89図	1-29トレンチ配置図	20	第114図	1-37基本土層図	24
第90図	1-29基本土層図	20	第115図	1-38位置図	24
第91図	1-30位置図	20	第116図	1-38トレンチ配置図	24
第92図	1-30トレンチ配置図	20	第117図	1-38基本土層図	24
第93図	1-30基本土層図	20	第118図	出土遺物実測図	26
第94図	1-31位置図	21	第119図	出土遺物実測図	27
第95図	1-31トレンチ配置図	21	第120図	調査地位置図	39
第96図	1-31基本土層図	21	第121図	トレンチ配置図	39
第97図	1-32位置図	21	第122図	土層図	39
第98図	1-32トレンチ配置図	21	第123図	八子六本木遺跡21区出土遺物実測図	41
第99図	1-32基本土層図	21	第124図	遺構配置図	41

写 真 目 次

写真1	1-1トレンチ全景	28	写真26	1-13土層	31
写真2	1-1土層	28	写真27	1-14トレンチ全景	31
写真3	1-2トレンチ全景	28	写真28	1-14土層	31
写真4	1-2土層	28	写真29	1-15トレンチ全景	31
写真5	1-3トレンチ全景	28	写真30	1-15土層	31
写真6	1-3土層	28	写真31	1-16トレンチ全景	31
写真7	1-4トレンチ全景	28	写真32	1-16土層	31
写真8	1-4土層	28	写真33	1-17トレンチ全景	32
写真9	1-5トレンチ全景	29	写真34	1-17土層	32
写真10	1-5土層	29	写真35	1-18トレンチ全景	32
写真11	1-6トレンチ全景	29	写真36	1-18土層	32
写真12	1-6土層	29	写真37	1-19トレンチ全景	32
写真13	1-7トレンチ全景	29	写真38	1-19土層	32
写真14	1-7土層	29	写真39	1-20トレンチ全景	32
写真15	1-8トレンチ全景	29	写真40	1-20土層	32
写真16	1-8土層	29	写真41	1-21トレンチ全景	33
写真17	1-9トレンチ全景	30	写真42	1-21土層	33
写真18	1-9土層	30	写真43	1-22トレンチ全景	33
写真19	1-10トレンチ全景	30	写真44	1-22土層	33
写真20	1-10土層	30	写真45	1-23トレンチ全景	33
写真21	1-11トレンチ全景	30	写真46	1-23土層	33
写真22	1-11土層	30	写真47	1-24トレンチ全景	33
写真23	1-12トレンチ全景	30	写真48	1-24土層	33
写真24	1-12土層	30	写真49	1-25トレンチ全景	34
写真25	1-13トレンチ全景	31	写真50	1-25土層	34

写真51	1-26トレンチ全景	34	写真67	1-34トレンチ全景	36
写真52	1-26土層	34	写真68	1-34土層	36
写真53	1-27トレンチ全景	34	写真69	1-35トレンチ全景	36
写真54	1-27土層	34	写真70	1-35土層	36
写真55	1-28トレンチ全景	34	写真71	1-36トレンチ全景	36
写真56	1-28土層	34	写真72	1-36土層	36
写真57	1-29トレンチ全景	35	写真73	1-37トレンチ全景	37
写真58	1-29土層	35	写真74	1-37土層	37
写真59	1-30トレンチ全景	35	写真75	1-38トレンチ全景	37
写真60	1-30土層	35	写真76	1-38トレンチ全景	37
写真61	1-31トレンチ全景	35	写真77	1-38土層	37
写真62	1-31土層	35	写真78	調査前風景	39
写真63	1-32トレンチ全景	35	写真79	掘削状況	40
写真64	1-32土層	35	写真80	遺構検出状況	40
写真65	1-33トレンチ全景	36	写真81	完掘状況	40
写真66	1-33土層	36	写真82	土層	40

1. 遺跡の立地と環境

① 自然的環境

神埼市は、佐賀県東部に位置し、北は脊振山を挟んで福岡県福岡市、南は筑後川を挟んで福岡県久留米市、西は佐賀市、東は神埼郡吉野ヶ里町に接し、北は脊振山から南は千代田町の平野部まで南北に細長い形をしている。脊振山系を源に城原川、田手川、三本松川が流れ、神埼町北部では扇状地が形成され、神埼町南部と千代田町では河川と有明海の干満の差による堆積作用により、高低差の少ない平坦な平野が形成される。また、南部地域では、佐賀平野特有の堀（クリーク）に囲まれた環濠集落が中世以降現在まで続く生活空間として残る。

② 歴史的環境

神埼市は、旧石器時代から近代まで市内各地に多くの生活の跡が存在する。

旧石器時代は、脊振山南麓部に国府形ナイフと九州の在地系の技法で作られたナイフ形石器が共伴して出土した船塚遺跡をはじめ、丘陵地帯では同時代の遺物が出土した塚原遺跡、吉野ヶ里遺跡が分布する。

縄文時代は、脊振山南麓部で早期から後期の土器が出土し、住居跡、集石、落し穴等が検出された船塚遺跡、早期から晩期の土器が出土し、後期から晩期の埋甕と土壙墓が検出された志波屋六本松遺跡が分布する。

弥生時代は、吉野ヶ里丘陵上に前期から後期までの大規模な環濠集落である吉野ヶ里遺跡が形成され、城原川右岸に展開する利田・川寄などの遺跡（群）では、鐸形土製品が出土している。南部平野部では、銅劍、銅矛の鋳型が出土した帥遺跡、朝鮮系の黒色磨研土器が出土した上黒井遺跡、農具と漁撈具が出土した詫田西分遺跡等の貝塚が伴った遺跡が分布する。

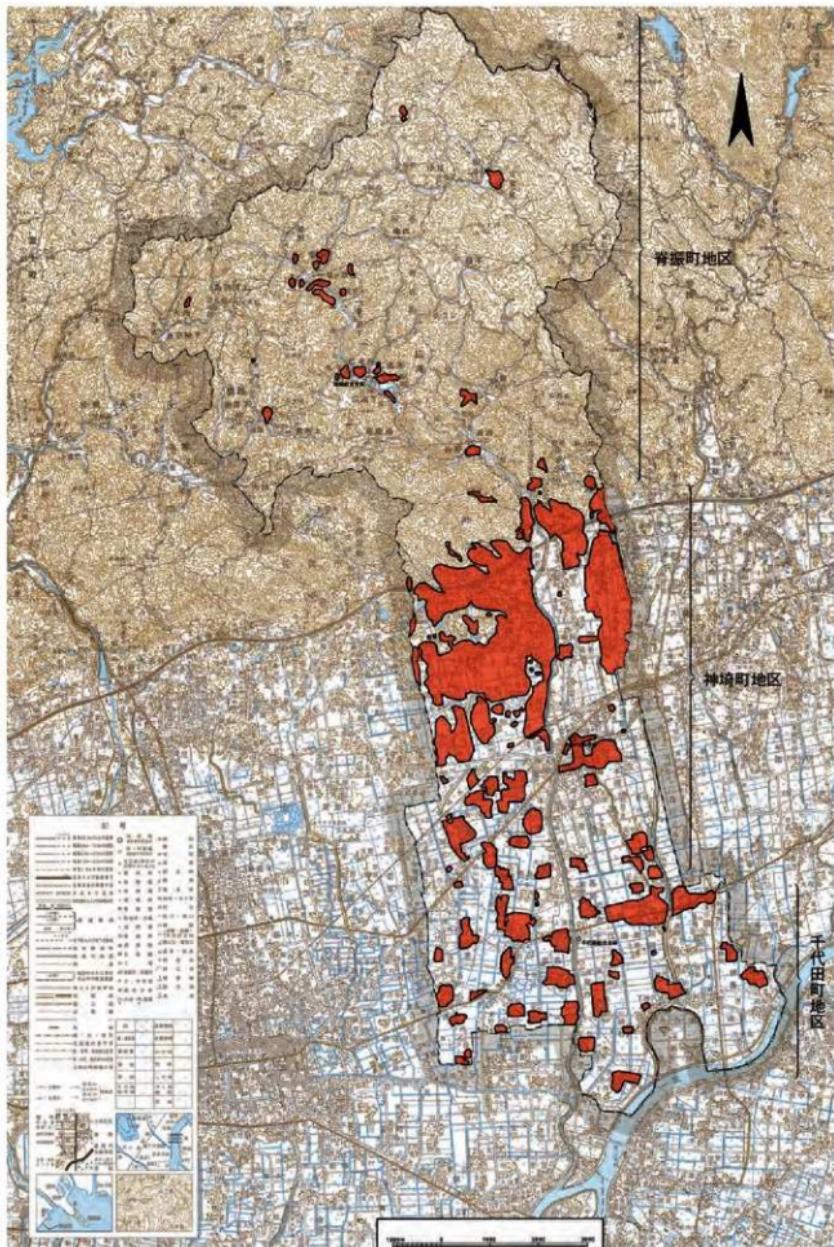
古墳時代になると、旧城原川西岸に方形居館が形成された右原祇園町遺跡、吉野ヶ里丘陵西側には吉野ヶ里遺跡後に大規模な集落跡が形成された馬郡竹原遺跡群、集落内の構によって住居跡が区画された志波屋六本松遺跡が分布する。古墳は、石劍と変形四獸鏡が出土した朝日古墳、県内屈指の規模の装飾古墳である伊勢塚古墳が築造され、天神尾古墳群、猿岳古墳群、花浦古墳群等の群集墳が脊振山南麓部や丘陵地帯に多く築造される。また、平原須恵器窯跡が日の隈山西方に所在する。

古代では、切通や官道跡が検出された吉野ヶ里遺跡、塚原遺跡、吉野ヶ里丘陵西側で帶金具や墨書き土器が出土し、神埼郡衙と推定される馬郡竹原遺跡群、丘陵上で規則的な掘立柱建物群が並んだ志波屋三の坪（乙）遺跡、志波屋四の坪遺跡が西海道を中心に分布する。また、古代から中世にかけて皇室領として神崎荘が形成され、脊振山地周辺では、脊振山経塚群、多門坊跡等の山岳仏教に関係した遺跡が分布する。

中世になると、山間部に勢福寺城、横大路城、平野部には堀を巡らした環濠集落が形成され、代表的なものとして姉川城、横武城、直鳥城等の城館が築造される。勢福寺城では、「元屋敷」「市場」「小路」、姉川城では、「下馬口」「構口」「館」、直鳥城では、「城屋敷」「鍛冶屋敷」「村小路」等のしこ名が残ることから、城（城館）として機能していた事がわかる。

近世になると、長崎街道沿いに宿場町が形成され、筑後川へ向かう蓮池往還と長崎街道の分岐点であった境原宿や櫛田宮の門前町として栄えた神埼宿がつくられ、お茶屋や脇本陣が置かれた。また、神埼宿では、「二日市」・「四日市」等の地名や街道沿いには長崎街道唯一のひのはしら一里塚が残り、発掘調査により中世から明治間にかけての生活面・硬化面・整地層等が検出された神埼宿遺跡が分布する。

現在でも、市内各地には条里制の名残りとして石井ヶ里、田道ヶ里等の「里」、一の坪、二の坪等の「坪」が付く地名や、中世から近世に堀を巡らせた環濠集落が形成され、生活空間として現在に至る。



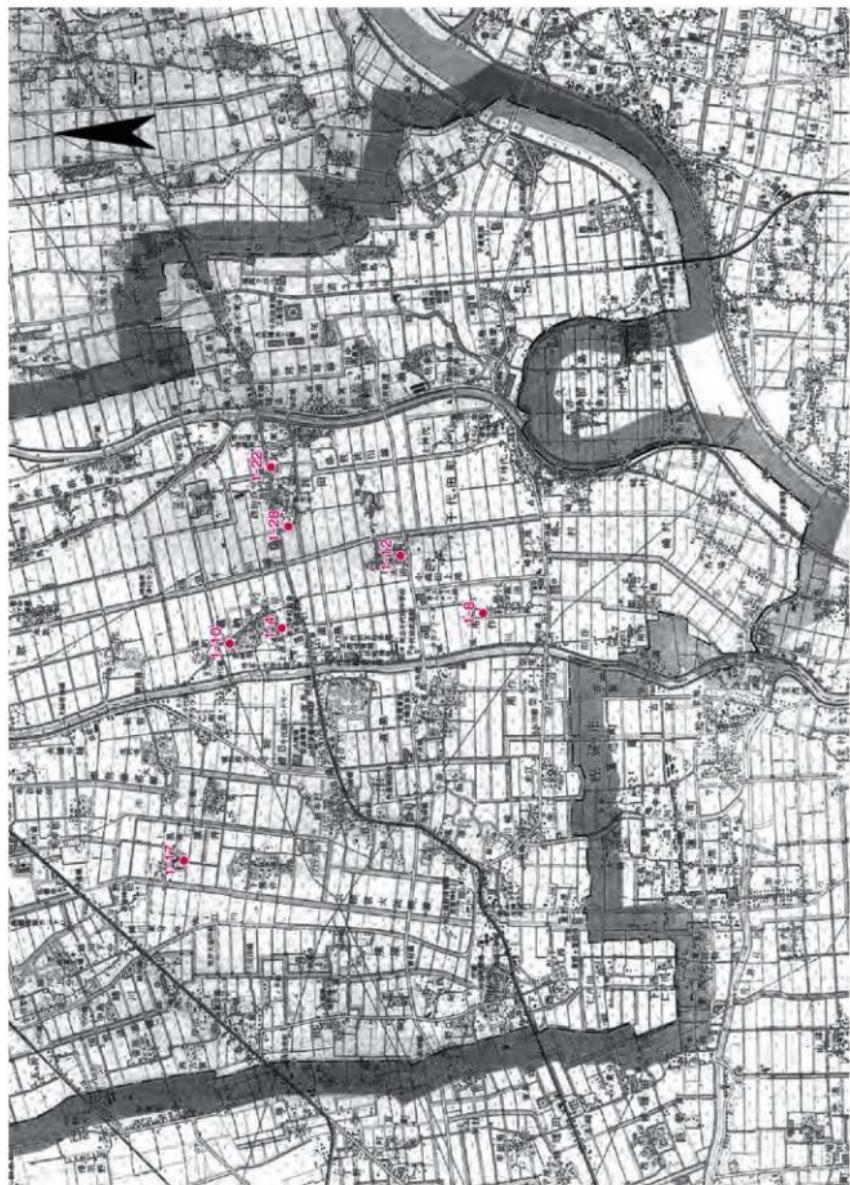
第1図 神塙市遺跡地図（朱囲みの部分が周知の埋蔵文化財包蔵地）

第1表 令和元年度確認調査実施地区一覧表

番号	遺跡名	調査地	原因者	事業内容	工事面積	調査面積	調査結果	調査後の措置
1-1	西田遺跡	神埼町城原985-1の一部、988	個人	個人住宅建設	1,254.81m ²	7.00m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-2	野田遺跡	神埼町竹1861	個人	農業用倉庫建設	329.00m ²	6.00m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-3	下六丁遺跡	神埼町横武2248-7	個人	個人住宅建設	326.27m ²	2.00m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-4	嘉納遺跡	千代田町嘉納967-1	個人	個人住宅建設	678.23m ²	2.45m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-5	志波屋五の坪遺跡	神埼町志波屋621-41の一部	民間	個人住宅建設	441.55m ²	22.34m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-6	本郷朝日遺跡	神埼町本郷3163-1 外2筆	民間	分譲住宅建設	2,700.36m ²	32.08m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-7	本郷朝日遺跡	神埼町本郷3163-1	個人	資材貯蔵設置	37.00m ²	2.40m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-8	小森田遺跡	千代田町用作1977の一部	小組組	公民館建設	1,621.00m ²	12.18m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-9	市場遺跡	神埼町城原2320-1の一部、2330-2	個人	個人住宅建設	338.72m ²	12.20m ²	遺構確認	慎重工事
1-10	嘉納遺跡	千代田町嘉納666	個人	個人住宅建設	646.71m ²	5.85m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-11	柏原四の割遺跡	神埼町竹3601-1	個人	個人住宅建設	370.00m ²	1.80m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-12	丁太田遺跡	千代田町武田960-3	個人	個人住宅建設	550.00m ²	4.65m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-13	的遺跡	神埼町志波屋2444-1	個人	個人住宅建設	453.61m ²	23.72m ²	遺構・遺物確認	確認調査にとどめる
1-14	城原一本谷遺跡	神埼町城原2942-1	個人	太陽光パネル設置	2,181.00m ²	18.87m ²	遺構確認	工事立会
1-15	的五本黒木遺跡	神埼町の398-1	民間	事務所建設	902.00m ²	39.62m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-16	八子二本黒木遺跡	神埼町城原408	民間	太陽光パネル設置	1,577.00m ²	58.42m ²	遺構・遺物確認	確認調査にとどめる
1-17	上黒井環塗集落	千代田町黒井957	個人	個人住宅建設	286.39m ²	13.97m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-18	上六丁遺跡	神埼町横武1776-3, 1776-2	個人	個人住宅建設	309.07m ²	14.30m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-19	神埼宿遺跡	神埼町神埼387	個人	個人住宅建設	124.71m ²	18.36m ²	遺構・遺物確認	確認調査にとどめる
1-20	志波屋六の坪(乙)遺跡	神埼町志波屋1097	民間	資材貯蔵造成	112.00m ²	11.70m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-21	唐香原遺跡	神埼町尾崎4151-1	民間	個人住宅建設	783.00m ²	8.71m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-22	武田西分遺跡	千代田町武田81-1 外2筆及びその他先	佐賀県	側溝の敷設	138.00m ²	0.75m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-23	神埼宿遺跡	神埼町神埼568	個人	駐車場造成	946.00m ²	14.70m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-24	市場遺跡	神埼町城原2195-2 外	個人	文化財の有無	485.00m ²	14.43m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-25	神埼宿遺跡	神埼町神埼24	個人	共同住宅建設	324.53m ²	5.85m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-26	馬場下遺跡	神埼町尾崎200の一部	民間	共同住宅建設	965.71m ²	32.24m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-27	城原四本谷遺跡	神埼町城原576 959華	佐賀県	道路幅幅工事	555.00m ²	5.76m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-28	武田西分遺跡	千代田町武田1575-12	個人	個人住宅建設	251.24m ²	2.70m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-29	中園遺跡	神埼町鶴420-1	個人	個人住宅建設	352.10m ²	10.80m ²	遺構・遺物確認	確認調査にとどめる
1-30	本郷朝日遺跡	神埼町本郷3140-14	個人	個人住宅建設	288.30m ²	8.68m ²	遺構・遺物確認	確認調査にとどめる
1-31	八子六本黒木遺跡	神埼町城原788-4	個人	事務所建設	514.00m ²	12.36m ²	遺構・遺物確認	本調査
1-32	神埼宿遺跡	神埼町神埼553-1	個人	個人住宅建設	616.41m ²	7.80m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-33	村中遺跡	神埼町永歌256-1, 257-7	個人	個人住宅建設	377.00m ²	10.50m ²	遺構・遺物確認	取扱いについて留意
1-34	八子四本黒木遺跡	神埼町城原567-1	個人	事務所建設及び資材貯蔵造成	652.00m ²	68.18m ²	遺構・遺物確認	確認調査にとどめる
1-35	紙園原遺跡	神埼町尾崎1973	個人	個人住宅建設	611.00m ²	9.80m ²	遺構・遺物なし	慎重工事
1-36	志波屋四本松遺跡	神埼町志波屋1572-1 外2筆	志望組	文化財の有無	2,520.37m ²	35.39m ²	遺構確認	取扱いについて留意
1-37	中園遺跡	神埼町鶴420-3	個人	個人住宅建設	353.74m ²	20.56m ²	遺構確認	確認調査にとどめる
1-38	未固知	神埼町の1675	神埼市	文化財の有無	980.00m ²	7.00m ²	遺構確認	継続調査



第2図 神埼町確認調査位置図



第3図 千代田町確認調査位置図

2. 令和元年度の確認調査

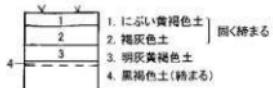
1-1 西田遺跡 (0130)

神埼市神埼町城原985-1の一部、988

【立地】 弥生時代から古墳時代までの散布地である西田遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、遺跡の南東部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを3カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたので、工事に支障なし。



第6回 基本土層図 (1/30)

1-2 野田遺跡 (0134)

神埼市神埼町竹1861

【立地】 弥生時代と奈良時代から中世の散布地である野田遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、遺跡の北東部に位置する。

【調査】 対象地内にトレーナーを2カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

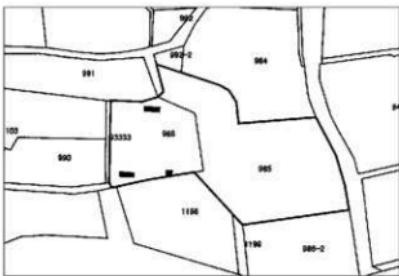
【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたので、工事に支障なし。



第9回 基本土層図 (1/30)



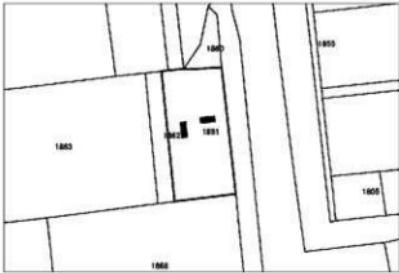
第4図 調査地位置図 (1/10,000)



第5図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第7図 調査地位置図 (1/10,000)



第8図 トレンチ配置図 (1/1,000)

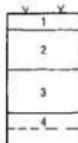
1-3 下六丁遺跡 (0168)

神埼市神埼町横武2248-7

【立地】 中世から近世の集落跡である下六丁遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、遺跡の南西部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたので工事に支障なし。植物遺体が出土したため、湿地帯であった可能性が考えられる。



第12図 基本土層図 (1/30)

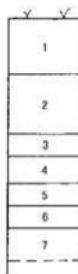
1-4 嘉納遺跡 (0229)

神埼市千代田町嘉納967-1

【立地】 奈良時代から平安時代の散布地、中世から近世の集落跡である嘉納遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、遺跡の南部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行つた。遺構・遺物は認められなかつた。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたので工事に支障なし。



第15図 基本土層図 (1/30)



第10図 調査地位置図 (1/10,000)



第11図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第13図 調査地位置図 (1/10,000)



第14図 トレンチ配置図 (1/1,000)

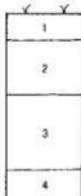
1-5 志波屋五の坪遺跡（0086）

神埼市神埼町志波屋621-41の一部

【立地】 旧石器時代から古墳時代の散布地である志波屋五の坪遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の南東部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを2カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたので、工事に支障なし。地形が落ち込んでいることがわかり、段々畝などを埋め立てて、現在の地形にしたと考えられる。

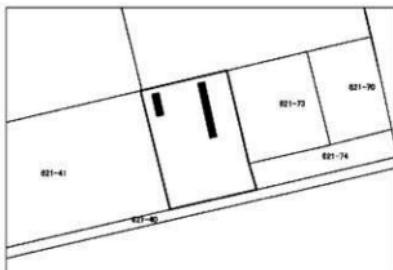


第18図 基本土層図 (1/30)

1. 素土
2. にぶい黄褐色土
3. 暗灰色土に黒褐色土混じる
4. 黒褐色土



第16図 調査地位置図 (1/10,000)



第17図 トレンチ配置図 (1/1,000)

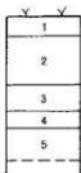
1-6 本堀朝日遺跡（0221）

神埼市神埼町本堀3163-1 外2筆

【立地】 弥生時代から中世の散布地である本堀朝日遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の北部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを6カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかつた。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため、工事に支障なし。



第21図 基本土層図 (1/30)

1. 素作土
2. にぶい褐色土
3. 深灰褐色土
4. 暗褐色粘土質土
5. 暗青灰色砂質土



第19図 調査地位置図 (1/10,000)



第20図 トレンチ配置図 (1/2,500)

1-7 本堀朝日遺跡 (0221)

神埼市神埼町本堀3163-1

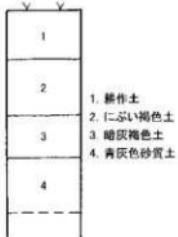
【立地】 弥生時代から中世の散布地である本堀朝日遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の北部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため、工事に支障なし。



第22図 調査地位置図 (1/10,000)



第24図 基本土層図 (1/30)

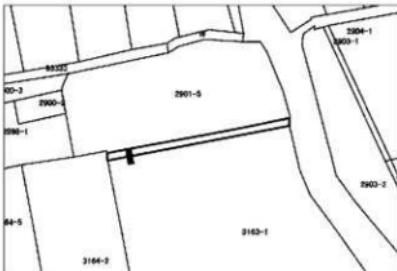
1-8 小森田遺跡 (0239)

神埼市千代田町用作1977の一部

【立地】 弥生時代の散布地、中世から近世の集落跡である小森田遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、遺跡の北西部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを2カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかつた。

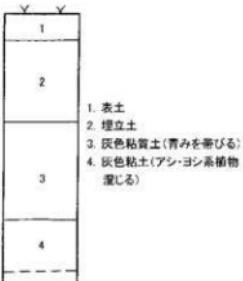
【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため、工事に支障なし。



第23図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第25図 調査地位置図 (1/10,000)



第27図 基本土層図 (1/30)



第26図 トレンチ配置図 (1/1,000)

1-9 市場遺跡 (0063)

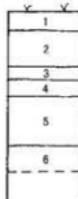
神埼市神埼町城原2320-1の一部、2320-2

【立地】 繩文時代から古墳時代と平安時代から中世の散布地である市場遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、遺跡の北西部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを2カ所設定し、確認調査を行った。性格不明の堀を確認した。遺物は認められなかつた。

【所見】 堀を確認したが、遺物が出土していないため、いつの時代のものかは不明である。開発に伴う掘削が遺跡に影響を及ぼさない

いため、工事に
支障なし。



1. 表土
2. 棕灰色土
3. 明黄褐色土
4. 福灰色土に灰褐色土が混じる
5. 暗灰青褐色土
6. にぶい黄褐色砂質土(地山)

第30図 基本土層図 (1/30)



第28図 調査地位置図 (1/10,000)



第29図 トレンチ配置図 (1/1,000)

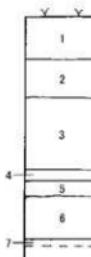
1-10 嘉納遺跡 (0229)

神埼市千代田町嘉納666

【立地】 奈良時代から平安時代の散布地と中世から近世の集落跡である嘉納遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の北部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかつた。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため、工事に支障なし。



1. 表土
2. 棕灰色土
3. にぶい褐色土
4. 明褐色土
5. 疏褐色土
6. 福灰色土に福灰色土が混じる
7. 暗灰青褐色土

第33図 基本土層図 (1/30)



第31図 調査地位置図 (1/10,000)



第32図 トレンチ配置図 (1/1,000)

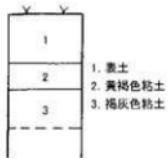
1-11 柏原四の割遺跡 (0036)

神埼市神埼町竹3601-1

【立地】 弥生時代の散布地である柏原四の割遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の西部に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物ともに認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。川砂が確認されたため、河川や池であった可能性が考えられる。



第36図 基本土層図 (1/30)

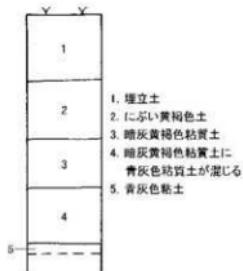
1-12 丁太田遺跡 (0237)

神埼市千代田町詫田960-3

【立地】 弥生時代の散布地である丁太田遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の南部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物ともに認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。



第39図 基本土層図 (1/30)



第34図 調査地位置図 (1/10,000)



第35図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第37図 調査地位置図 (1/10,000)



第38図 トレンチ配置図 (1/1,000)

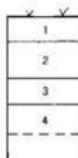
1-13 的遺跡（0064）

神埼市神埼町志波屋2444-1

【立地】 繩文時代の散布地、弥生時代の墳墓、弥生時代から古墳時代の集落跡である的遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の東部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを3ヵ所設定し、確認調査を行った。住居址と小穴を検出し、遺物は弥生土器が出土した。

【所見】 遺構・遺物を確認したが、遺跡への影響を少なくすることにより、建物部分については慎重工事とした。浄化槽については、遺跡が見つからなかった位置に調整した。



第42図 基本土層図 (1/30)

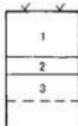
1-14 城原一本谷遺跡（0059）

神埼市神埼町城原2942-1

【立地】 繩文時代から古墳時代の散布地である城原一本谷遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の東部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを3ヵ所設定し、確認調査を行った。No.3 トレンチから土坑と小穴を検出した。

【所見】 太陽光パネルを現況に据え置く形を採用し、掘削を伴わない工法に調整したため慎重工事とした。また樹木伐採や拔根などの整地作業により遺跡が破壊される恐れがあるため、工事立会とした。



第45図 基本土層図 (1/30)



第40図 調査地位置図 (1/10,000)



第41図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第43図 調査地位置図 (1/10,000)



第44図 トレンチ配置図 (1/2,500)

1-15 的五本黒木遺跡（0065）

神埼市神埼町の398-1

【立地】 弥生時代から古墳時代までの集落跡である的五本黒木遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の南部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを4カ所設定し、確認調査を行った。摩耗した弥生土器が出土した。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため、工事に支障なし。



第46図 調査地位置図 (1/10,000)



第48図 基本土層図 (1/30)

1-16 八子二本黒木遺跡（0113）

神埼市神埼町城原408

【立地】 弥生時代から古墳時代の散布地である八子二本黒木遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の南西部に位置する。

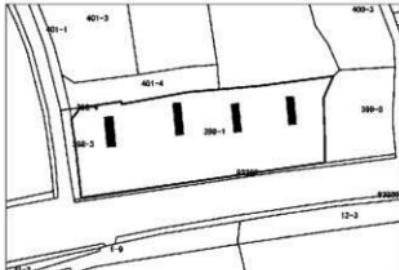
【調査】 調査地内にトレンチを5カ所設定し、確認調査を行った。いずれのトレンチからも遺構・遺物が認められた。

【所見】 周辺では甕棺の墓域が確認されている。土坑や小穴が認められ、詳細な性格は確認することができなかつたが、周辺の遺跡と関連性を窺える。掘削をしない工法に調整したため、慎

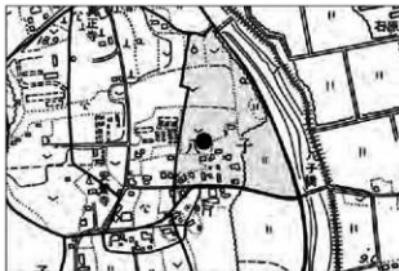
重大事で対処した。



第51図 基本土層図 (1/30)



第47図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第49図 調査地位置図 (1/10,000)



第50図 トレンチ配置図 (1/1,000)

1-17 上黒井環濠集落 (0185)

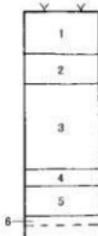
神埼市千代田町上黒井

【立地】 中世から近世の集落跡である上黒井環濠集落は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の南部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを2カ所設定し、確認調査を行った。遺構は認められず、遺物は陶器や磁器、土師器などが出土した。

【所見】 遺構はなく、遺物は別の場所からの流れ込みであると考えられる

ため、工事に支障なし。

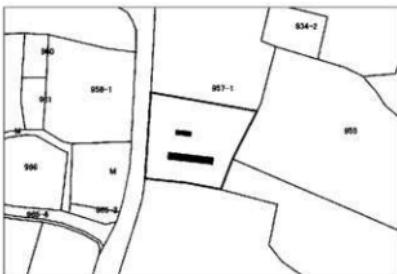


1. 墓立土
2. にじい褐色土
3. 褐灰色粘質土
4. 黒褐色粘質土に褐灰色
粘質土が混じる
5. 褐灰色粘質土に青灰色
粘質土が混じる
6. 明青灰色粘質土

第54図 基本土層図 (1/30)



第52図 調査地位置図 (1/10,000)



第53図 トレンチ配置図 (1/1,000)

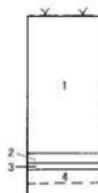
1-18 上六丁遺跡 (0171)

神埼市神埼町横武1776-3、1776-2

【立地】 中世から近世の集落跡と中世の城館跡である上六丁遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の西部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを2カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため、工事に支障なし。

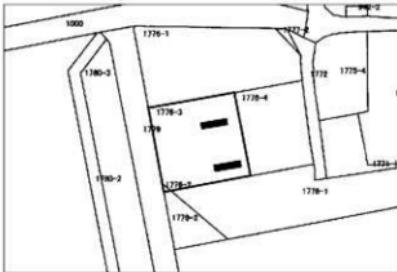


1. 墓立土
2. 着褐色灰色粘質土
3. 青褐色粘質土
4. 反青褐色粘質土

第57図 基本土層図 (1/30)



第55図 調査地位置図 (1/10,000)



第56図 トレンチ配置図 (1/1,000)

1-19 神埼宿遺跡（0167）

神埼市神埼町神埼387

【立地】 奈良時代の集落跡と中世の散布地、近世の宿場町である神埼宿遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の北部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを2カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物を確認した。

【所見】 小石を敷き詰めた小穴や礎石に使用されたと考えられる石を確認した。いずれも江戸時代のものと推定される。工法を変更し、遺跡に与える影響を最小限にとどめることで、慎重工事で対処可能とした。



第58図 調査地位地図 (1/10,000)

	X	X
1		
2		
3		
4		
5		
6		

1. 墳丘土
2. 墳土
3. 黒褐色土(炭化物混じる)
4. 暗灰色土
5. 鮎川黄褐色土
6. 灰青褐色砂質土

第60図 基本土層図 (1/30)

1-20 志波屋六の坪（乙）遺跡（0083）

神埼市神埼町志波屋1097

【立地】 繩文時代から古墳時代の散布地である志波屋六の坪（乙）遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の北西部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため、工事に支障なし。

	X	X
1		
2		
3		
4		

1. 表土
2. 灰青褐色土
3. 暗灰色土
4. にぶい褐色土
(レギ多く混じる)

第63図 基本土層図 (1/30)



第59図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第61図 調査地位地図 (1/10,000)



第62図 トレンチ配置図 (1/1,000)

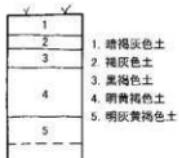
1-21 唐香原遺跡 (0128)

神埼市神埼町尾崎4151-1

【立地】 繩文時代から古墳時代の散布地である唐香原遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の南西部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため、工事に支障なし。



第66図 基本土層図 (1/30)

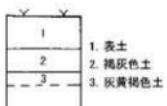
1-22 論田西分遺跡 (0231)

神埼市千代田町諺田81-1外2筆及びその地先

【立地】 弥生時代から中世までの散布地、集落跡、貝塚、墳墓である諺田西分遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の東部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかつた。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため、工事に支障なし。



第69図 基本土層図 (1/30)



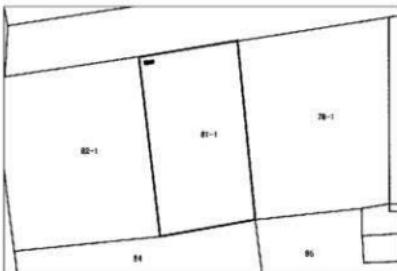
第64図 調査地位置図 (1/10,000)



第65図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第67図 調査地位置図 (1/10,000)



第68図 トレンチ配置図 (1/1,000)

1-23 神埼宿遺跡（0167）

神埼市神埼町神崎568

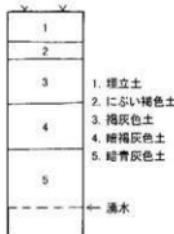
【立地】 奈良時代の集落跡と中世の散布地と近世の宿場町である神埼宿遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の西部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを2ヵ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため工事に支障なし。



第70図 調査地位置図 (1/10,000)



第72図 基本土層図 (1/50)

1-24 市場遺跡（0063）

神埼市神埼町城原2195-2 外

【立地】 繩文時代から古墳時代と平安時代から中世の散布地である市場遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地はその遺跡内の南部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを2ヵ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかつた。

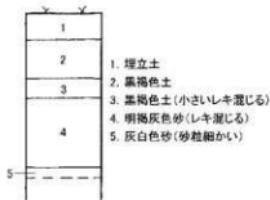
【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため、工事の際には、文化財保護法上の手続きをとるよう開発者と協議を行いたい。



第71図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第73図 調査地位置図 (1/10,000)



第75図 基本土層図 (1/30)



第74図 トレンチ配置図 (1/1,000)

1-25 神埼宿遺跡（0167）

神埼市神埼町神崎24

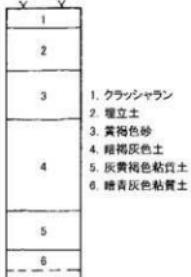
【立地】 奈良時代の集落跡と中世の散布地と近世の宿場町である神埼宿遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の東部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため、工事に支障なし。



第76図 調査地位置図 (1/10,000)



第78図 基本土層図 (1/30)

1-26 馬場下遺跡（0151）

神埼市神埼町尾崎200の一部

【立地】 奈良時代から中世の散布地である馬場下遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、遺跡の南部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを4カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかつた。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため、工事に支障なし。



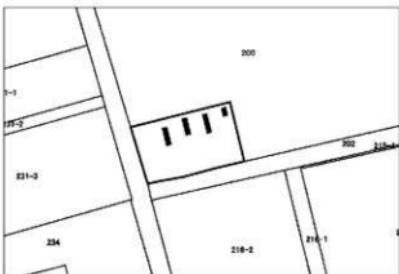
第77図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第79図 調査地位置図 (1/10,000)



第81図 基本土層図 (1/30)



第80図 トレンチ配置図 (1/1,000)

1-27 城原四本谷遺跡 (0104)

神埼市神埼町城原576 外9筆

【立地】 旧石器時代から中世の散布地である城原四本谷遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の南部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを2カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

【所見】 遺構・遺物ともに認められなかったため、工事に支障なし。



第82図 調査地位置図 (1/10,000)



第84図 基本土層図 (1/30)

1-28 諂田西分遺跡 (0231)

神埼市千代田町諂田1575-12

【立地】 弥生時代から中世までの散布地、集落跡、貝塚、墳墓である諂田西分遺跡は、神埼市南部の千代田町に位置し、調査地は、その遺跡内の南部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。弥生土器の破片が出土した。

【所見】 遺構ではなく、遺物は他の場所からの流れ込みであると考えられるため、慎重工事で対処可能とした。



第83図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第85図 調査地位置図 (1/10,000)



第87図 基本土層図 (1/30)



第86図 トレンチ配置図 (1/1,000)

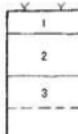
1-29 中園遺跡 (0213)

神埼市神埼町鶴420-1

【立地】 弥生時代と奈良時代から中世の散布地である中園遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内の南部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。溝跡と小穴3基、不明遺構を検出した。弥生土器の破片が出土した。

【所見】 遺構・遺物が認められたが、保護層を確保することにより慎重工事で対処可能とした。



1. 造成土
2. 底褐色土(埋立土)
3. 黄褐色土

第90図 基本土層図 (1/30)

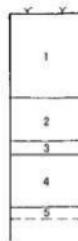
1-30 本堀朝日遺跡 (0221)

神埼市神埼町本堀3140-14

【立地】 弥生時代から中世までの散布地である本堀朝日遺跡は、神埼市南部の神埼町に位置し、調査地は、その遺跡内のほぼ中央部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。土坑を1基確認した。遺物は摩耗した土器や小皿が出土した。

【所見】 遺構が検出されたが、遺跡への影響を少なくすることにより、慎重工事で対処可能とした。



1. 造成土
2. 青灰色砂質土
3. 黒褐色土
4. 暗褐色新質土
5. 底褐色粘質土

第93図 基本土層図 (1/50)



第88図 調査地位置図 (1/10,000)



第89図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第91図 調査地位置図 (1/10,000)



第92図 トレンチ配置図 (1/1,000)

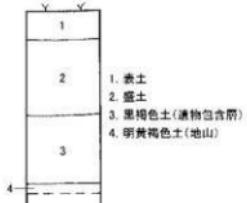
1-31 八子六本黒木遺跡 (0115)

神埼市神埼町城原788-4

【立地】 弥生時代と奈良時代、中世の散布地である八子六本黒木遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地はその遺跡内の中央部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。溝跡、土坑、小穴を検出した。遺物は弥生土器が出土した。

【所見】 建物部分については保護層を確保することができたため慎重工事とした。浄化槽部分については遺跡が破壊されるため本調査を実施することとした。



第96図 基本土層図 (1/30)

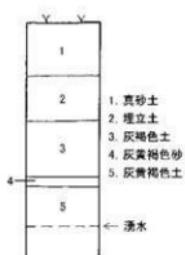
1-32 神埼宿遺跡 (0167)

神埼市神埼町神埼553-1

【立地】 奈良時代の集落跡と中世の散布地、近世の宿場町である神埼宿遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地はその遺跡内の南西部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。遺構はなく、遺物は瓦や中世の土器が出土した。

【所見】 遺構はなく、遺物は別の場所からの流れ込みであると考えられるため、工事に支障なし。



第99図 基本土層図 (1/30)



第94図 調査地位置図 (1/10,000)



第95図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第97図 調査地位置図 (1/10,000)



第98図 トレンチ配置図 (1/1,000)

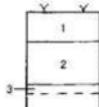
1-33 村中遺跡（0188）

神埼市神埼町永歌256-1、257-7

【立地】 中世から近世の集落跡である村中遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地はその遺跡内の北部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。小穴を6基検出し、遺物は小皿や須恵器片が出土した。

【所見】 基礎については盛土の範囲内で収まるが杭による影響があるため、開発者と協議中である。



第102図 基本土層図 (1/30)

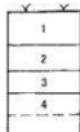
1-34 八子四本黒木遺跡（0111）

神埼市神埼町城原567-1

【立地】 旧石器時代から奈良時代と中世の散布地である八子四本黒木遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地はその遺跡内の北部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを3カ所設定し、確認調査を行った。全体で小穴を4基検出し、遺物は弥生土器片が出土した。

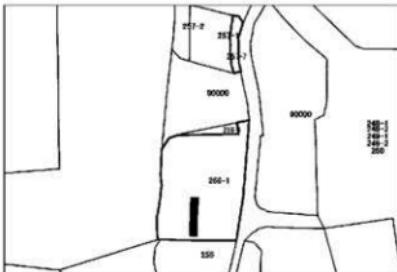
【所見】 全体的に構造密度は低いことがわかったが、工事内容を調整し保護層を確保することができたため、慎重工事で対処可能とした。



第105図 基本土層図 (1/30)



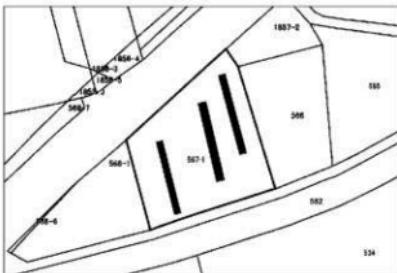
第100図 調査地位置図 (1/10,000)



第101図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第103図 調査地位置図 (1/10,000)



第104図 トレンチ配置図 (1/1,000)

1-35 紙園原遺跡（0127）

神埼市神埼町尾崎1973

【立地】 弥生時代から平安時代の散布地である紙園原遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地はその遺跡内の北部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを1カ所設定し、確認調査を行った。遺構・遺物は認められなかった。

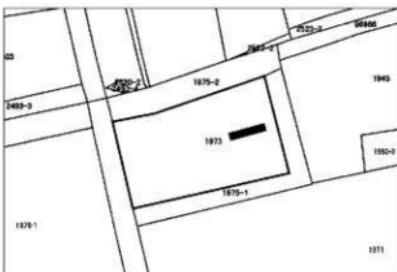
【所見】 遺構・遺物ともに認められなかつたため、工事に支障なし。



第108図 基本土層図 (1/30)



第106図 調査地位置図 (1/10,000)



第107図 トレンチ配置図 (1/1,000)

1-36 志波屋四本松遺跡（0076）

神埼市神埼町志波屋1572-1 外2筆

【立地】 弥生時代から古墳時代の散布地である志波屋四本松遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地はその遺跡内の北部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを3カ所設定し、確認調査を行った。西側のトレンチで小穴1基を検出した。遺物は認められなかつた。

【所見】 文化財の有無で調査を行つたが、結果として遺構を検出した。そのため開発を行う際には、開発者と協議を行う予定である。



第111図 基本土層図 (1/30)



第109図 調査地位置図 (1/10,000)



第110図 トレンチ配置図 (1/2,500)

1-37 中園遺跡 (0213)

神埼市神埼町鶴420-3

【立地】 弥生時代と奈良時代から中世の散布地である中園遺跡は、神埼市中部の神埼町に位置し、調査地はその遺跡内の南部に位置する。

【調査】 調査地内にトレンチを3ヵ所設定し、確認調査を行った。全体的に小穴を1基検出したのみであった。遺物は認められなかった。

【所見】 これまで畑として利用されてきたことから大部分で擾乱を受けており、構造密度は極めて低いことがわかった。工事内容についても、遺跡への影響を少なくすることにより慎重工事をとした。



第114図 基本土層図 (1/30)

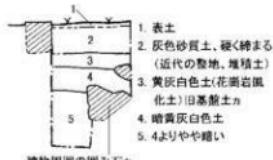
1-38 未周知

神埼市神埼町の1675

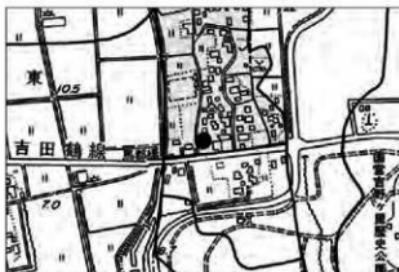
【立地】 調査地は神埼市中部の神埼町に位置する。

【調査】 対象地内にトレンチ3ヵ所設置し、確認調査を行った。

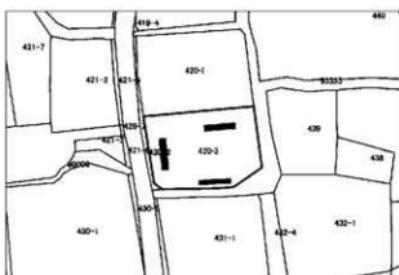
【所見】 文化財の有無として、調査を実施した。結果として、時代を特定するまでは至らなかったが、今後の周辺の調査を含めて、資料の一部としたい。



第117図 基本土層図 (1/30)



第112図 調査地位置図 (1/10,000)



第113図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第115図 調査地位置図 (1/10,000)

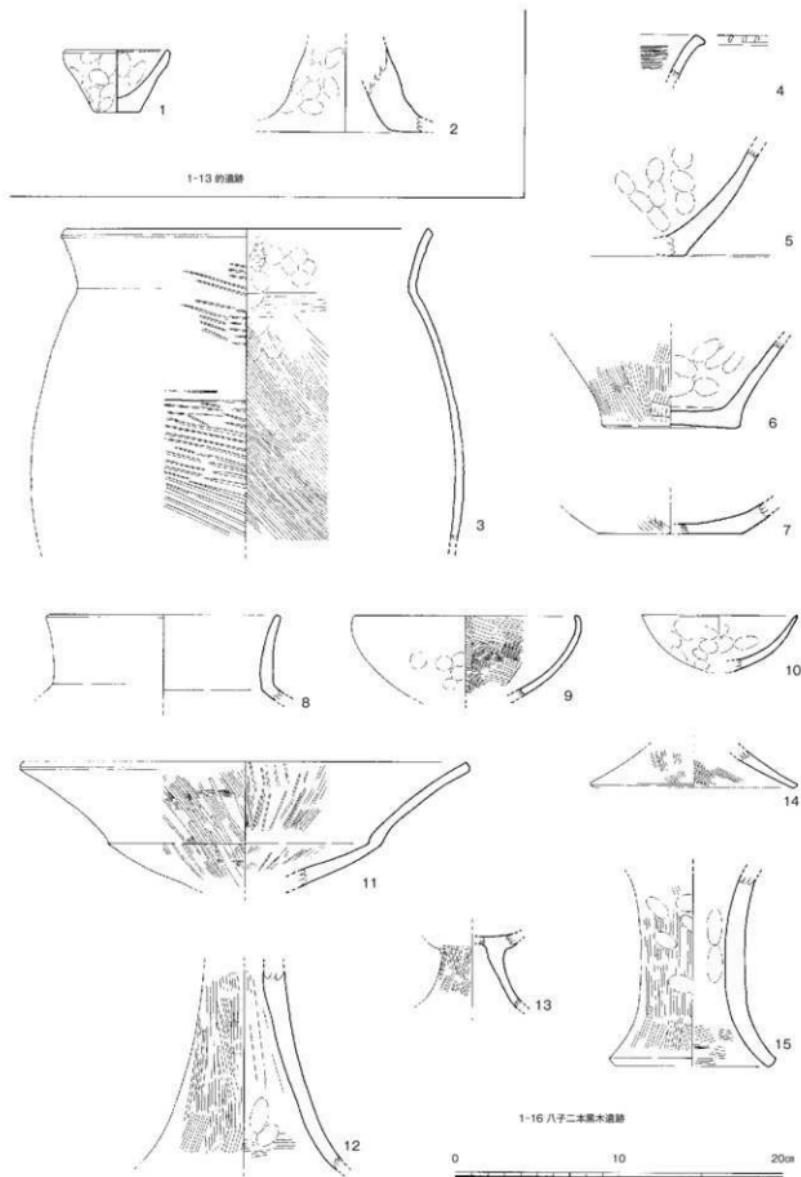


第116図 トレンチ配置図 (1/2,500)

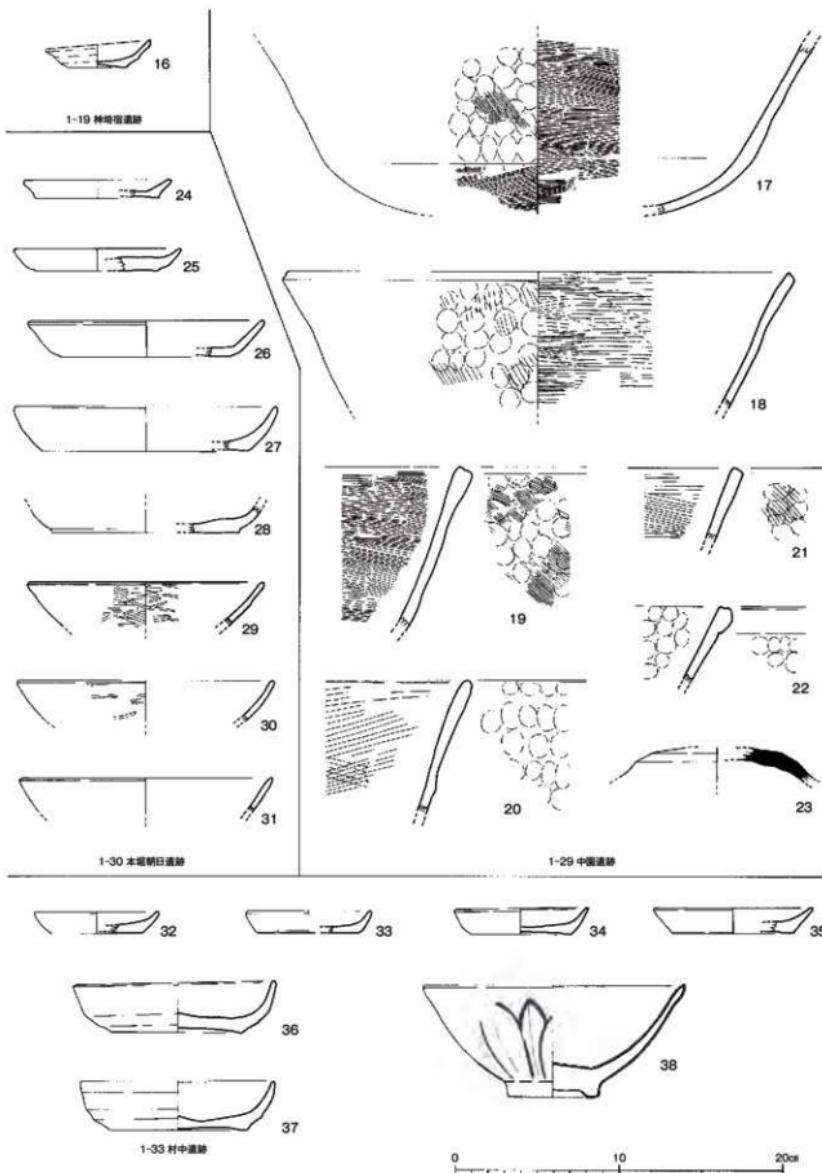
第2表 令和元年度確認調査地出土遺物観察表

井別	番号	調査番号	遺跡名	出土トネチ	種別	形態	法量(cm) 口径 底径 高さ	地土	色調		調整	参考	登録番号		
									外面	内面					
11804	1-13		の遺跡	No.1	手づくね	鉢	(6.5) (2.7) 3.85	細砂粒多く含む	灰白-褐色	褐色	灰白-褐色	褐色	±1913-0001		
	2-13		の遺跡	No.1	生土層	土器	- - -	細砂粒~2.5mmの 砂粒多く含む	灰青	2.5Y7/2	浅黄	2.5Y7/3	±1913-0002		
	3-16		八子二本木遺跡	No.1	生土層	壺	122.6	- - -	細砂粒~6mmの 砂粒多く含む	灰白	5Y7/1	黒褐	7.5YR3/1	±1916-0001	
	4-16		八子二本木遺跡	No.1	生土層	壺	- - -	細砂粒含む	灰白-褐色	5Y7/3	灰白-褐色	5Y7/3	±1916-0002		
	5-16		八子二本木遺跡	No.4	生土層	壺	- - -	細砂粒~1mmの 砂粒多く含む	肉桂褐	2.5YR6/6	灰白-褐色	2.5YR6/1	±1916-0020		
	6-16		八子二本木遺跡	No.4	生土層	壺	(8.4) -	細砂粒~1mmの 砂粒多く含む	灰白-褐色	5YR6/4	灰白-褐色	5YR6/1	±1916-0019		
	7-16		八子二本木遺跡	No.5	生土層	壺	(8.6) -	細砂粒~1.5mmの 砂粒多く含む	灰白-褐色	5YR6/4	灰白-褐色	5YR6/1	±1916-0021		
	8-16		八子二本木遺跡	No.3	生土層	壺	14.2	- - -	細砂粒~1.5mmの 砂粒多く含む	灰白-褐色	10YR4/4	浅黄青	10YR8/4	±1916-0010	
	9-16		八子二本木遺跡	No.1	生土層	鉢	(3.7)	- - -	細砂粒含む	灰白-褐色	7.5YR6/4	灰白-褐色	7.5YR6/4	±1916-0005	
	10-16		八子二本木遺跡	No.3	生土層	鉢	(9.5)	- - -	精選土	灰	10YR4/4	褐	10YR4/4	±1916-0014	
	11-16		八子二本木遺跡	No.4	生土層	高杯	(27.5)	- - -	細砂粒含む	褐	7.5YR6/6	褐	7.5YR6/1	±1916-0006	
	12-16		八子二本木遺跡	No.5	生土層	高杯	- - -	細砂粒~1mmの 砂粒多く含む	灰白	7.5YR5/8	灰白-褐色	7.5YR5/2	±1916-0022		
	13-16		八子二本木遺跡	No.3	生土層	高杯	- - -	1mmの砂粒 少し含む	灰白-褐色	10YR4/4	灰白-褐色	10YR4/4	±1916-0015		
	14-16		八子二本木遺跡	No.2	生土層	高杯	(12.7)	- - -	細砂粒少し含む	褐	5YR6/6	褐	5YR6/6	±1916-0008	
	15-16		八子二本木遺跡	No.3	生土層	器台	(10.2)	- - -	細砂粒~1mmの 砂粒多く含む	褐	5YR6/6	褐	5YR6/6	±1916-0016	
11904	1-19		神崎宿遺跡	No.1	土器部	小皿	6.4	3.5	1.7	細砂粒多く含む	褐	10YR8/3	褐	10YR8/3	±1919-0001
	17-19		中國遺跡	No.1	土器部	鍋	- - -	- - -	細砂粒含む	灰白-褐色	10YR2/2	黑	10YR2/1	±1929-0013	
	18-19		中國遺跡	No.1	土器部	鍋	(31.3)	- - -	細砂粒含む	灰白-褐色	7.5YR8/3	灰白-褐色	7.5YR8/2	±1929-0005	
	19-19		中國遺跡	No.1	土器部	鍋	- - -	- - -	細砂粒含む	灰白	7.5YR2/1	黑	2.5YR2/1	±1929-0000	
	20-19		中國遺跡	No.1	土器部	鍋	- - -	- - -	細砂粒含む	灰白	7.5YR2/1	灰白	10YR8/2	±1929-0007	
	21-19		中國遺跡	No.2	土器部	鍋	- - -	- - -	細砂粒含む	灰白	2.5YR4/1	黑	2.5YR4/1	±1929-0011	
	22-19		中國遺跡	No.1	土器部	鍋	- - -	- - -	1~2.5mmの砂粒 多く含む	褐	7.5YR6/6	褐	7.5YR6/6	±1929-0003	
	23-19		中國遺跡	No.1	頸器部	壺蓋	- - -	- - -	精選土	青灰	2.5YR6/1	灰	2.5YR5/2	±1929-0015	
	24-19		本郷朝日遺跡	No.1	土器部	小皿	(9.0) (7.5) 1.1	- - -	細砂粒含む	浅黄	7.5YR8/4	浅黄	7.5YR8/4	±1930-0001	
	25-19		本郷朝日遺跡	No.1	土器部	小皿	(10.2) (7.5) 1.35	- - -	細砂粒含む	浅黄	10YR8/1	浅黄	10YR8/3	±1930-0008	
	26-19		本郷朝日遺跡	No.1	土器部	壺	(14.4) (10.3) 2.2	- - -	細砂粒含む	浅黄	7.5YR8/1	浅黄	7.5YR8/3	±1930-0003	
	27-19		本郷朝日遺跡	No.1	土器部	壺	(16.0) (12.7) 2.7	- - -	細砂粒含む	明灰	7.5YR2/2	明灰	7.5YR2/2	±1930-0007	
	28-19		本郷朝日遺跡	No.1	土器部	壺	- - -	(11.5)	- - -	細砂粒含む	灰白	2.5YR8/2	灰白	2.5YR8/1	±1930-0014
	29-19		本郷朝日遺跡	No.1	瓦器	焼	(14.4)	- - -	- - -	精選土	灰白	5YR8/1	灰	5YR5/1	±1930-0016
	30-19		本郷朝日遺跡	No.1	瓦器	焼	(15.7)	- - -	- - -	精選土	明灰	2.5YR5/2	灰白	2.5YR8/1	±1930-0017
	31-19		本郷朝日遺跡	No.1	青磁	瓶	(15.5)	- - -	- - -	精選土	オーライト	5YR3/2	オーライト	5YR3/2	±1930-0018
	32-1-33		村中遺跡	No.1	土器部	小皿	(7.6) (5.5) 1.3	- - -	細砂粒~1mmの 砂粒少し含む	灰白-褐色	10YR2/1	灰白-褐色	10YR2/1	±1933-0005	
	33-1-33		村中遺跡	No.1	土器部	小皿	(7.7) (6.6) 1.35	- - -	細砂粒多く含む	淡赤	2.5YR2/1	淡赤	2.5YR2/1	±1933-0008	
	34-1-33		村中遺跡	No.1	土器部	小皿	(8.1) (6.2) 1.25	- - -	細砂粒多く含む	灰白-褐色	10YR2/1	灰白-褐色	10YR2/1	±1933-0004	
	35-1-33		村中遺跡	No.1	土器部	小皿	(9.7) (7.5) 1.6	- - -	精選土	灰白-褐色	2.5YR2/1	灰白-褐色	2.5YR2/1	±1933-0006	
	36-1-33		村中遺跡	No.1	土器部	壺	12.4	7.9	3.15	1.5mmの砂粒 少し含む	灰白-褐色	7.5YR2/1	灰白-褐色	7.5YR2/1	±1933-0002
	37-1-33		村中遺跡	No.1	土器部	壺	11.8	8.3	3.0	1mmの砂粒 少し含む	灰白-褐色	7.5YR2/1	灰白-褐色	7.5YR2/1	±1933-0001
	38-1-33		村中遺跡	No.1	青磁	瓶	(15.9) (5.5) 6.8	- - -	- - -	精選土	オーライト	10YR5/2	オーライト	10YR5/2	±1933-0011

（）は複数個を表す



第118図 出土遺物実測図 (1/3)



第119図 出土遺物実測図 (1/3)



写真1 西田遺跡(1-1) トレンチ



写真2 西田遺跡(1-1) 土層



写真3 野田遺跡(1-2) トレンチ



写真4 野田遺跡(1-2) 土層



写真5 下六丁遺跡(1-3) トレンチ



写真6 下六丁遺跡(1-3) 土層



写真7 嘉納遺跡(1-4) トレンチ



写真8 嘉納遺跡(1-4) 土層



写真9 志波屋五の坪遺跡(1-5) トレンチ



写真10 志波屋五の坪遺跡(1-5) 土層



写真11 本塙朝日遺跡(1-6) トレンチ



写真12 本塙朝日遺跡(1-6) 土層



写真13 本塙朝日遺跡(1-7) トレンチ



写真14 本塙朝日遺跡(1-7) 土層



写真15 小森田遺跡(1-8) トレンチ

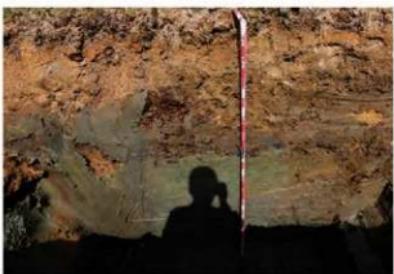


写真16 小森田遺跡(1-8) 土層



写真17 市場遺跡(1-9) トレンチ



写真18 市場遺跡(1-9) 土層



写真19 嘉納遺跡(1-10) トレンチ



写真20 嘉納遺跡(1-10) 土層



写真21 柏原四の割遺跡(1-11) トレンチ



写真22 柏原四の割遺跡(1-11) 土層



写真23 丁太田遺跡(1-12) トレンチ



写真24 丁太田遺跡(1-12) 土層



写真25 的遺跡(1-13) トレンチ



写真26 的遺跡(1-13) 土層



写真27 城原一本谷遺跡(1-14) トレンチ



写真28 城原一本谷遺跡(1-14) 土層



写真29 的五本黒木遺跡(1-15) トレンチ



写真30 的五本黒木遺跡(1-15) 土層



写真31 八子二本黒木遺跡(1-16) トレンチ



写真32 八子二本黒木遺跡(1-16) 土層



写真33 上黒井環濠集落(1-17) トレンチ



写真34 上黒井環濠集落(1-17) 土層



写真35 上六丁遺跡(1-18) トレンチ



写真36 上六丁遺跡(1-18) 土層



写真37 神埼宿遺跡(1-19) トレンチ



写真38 神埼宿遺跡(1-19) 土層



写真39 志波屋六の坪(乙) 遺跡(1-20) トレンチ

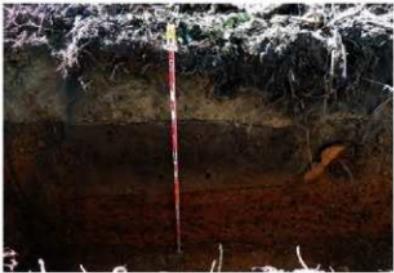


写真40 志波屋六の坪(乙) 遺跡(1-20) 土層



写真41 唐香原遺跡(1-21)トレンチ



写真42 唐香原遺跡(1-21)土層



写真43 調田西分遺跡(1-22)トレンチ



写真44 調田西分遺跡(1-22)土層



写真45 神埼宿遺跡(1-23)トレンチ



写真46 神埼宿遺跡(1-23)土層



写真47 市場遺跡(1-24)トレンチ



写真48 市場遺跡(1-24)土層



写真49 神埼宿遺跡(1-25)トレンチ



写真50 神埼宿遺跡(1-25)土層



写真51 馬場下遺跡(1-26)トレンチ



写真52 馬場下遺跡(1-26)土層



写真53 城原四本谷遺跡(1-27)トレンチ



写真54 城原四本谷遺跡(1-27)土層



写真55 谷田西分遺跡(1-28)トレンチ



写真56 谷田西分遺跡(1-28)土層



写真57 中國遺跡(1-29) トレンチ



写真58 中國遺跡(1-29) 土層



写真59 本堀朝日遺跡(1-30) トレンチ



写真60 本堀朝日遺跡(1-30) トレンチ



写真61 八子六本黒木遺跡(1-31) トレンチ



写真62 八子六本黒木遺跡(1-31) 土層



写真63 神埼宿遺跡(1-32) トレンチ



写真64 神埼宿遺跡(1-32) 土層



写真65 村中遺跡(1-33) トレンチ



写真66 村中遺跡(1-33) 土層



写真67 八子四本黒木遺跡(1-34) トレンチ



写真68 八子四本黒木遺跡(1-34) 土層



写真69 祇園原遺跡(1-35) トレンチ



写真70 祇園原遺跡(1-35) 土層



写真71 志波屋四本松遺跡(1-36) トレンチ



写真72 志波屋四本松遺跡(1-36) 土層



写真73 中園遺跡(1-37) トレンチ



写真74 中園遺跡(1-37) 土層



写真75 未周知(1-38) トレンチ



写真76 未周知(1-38) トレンチ



写真77 未周知(1-38) 土層

八子六本黒木遺跡21区

1. 八子六本黒木遺跡21区（本調査）

調査地 神埼市神埼町城原788-1

調査原因 事務所建設に伴う合併浄化槽

開発面積 514m²

調査面積 約 4 m²

調査期間 令和2年3月17日～3月19日

調査形態 本調査

調査後措置 記録保存



第120図 調査位置図 (1/10,000)

【1】調査に至る経緯

令和元年12月3日付けで神埼市神埼町城原に所在する八子六本黒木遺跡内で事務所建設に係る文化財保護法第93条の届出が提出された。この届出に対する回答が、令和元年12月26日付け文第5043号で佐賀県知事から届いた。この回答に基づき、令和2年1月21日に確認調査を行ったところ遺構・遺物が確認された。遺構は、弥生時代・奈良時代のものと推定され、周辺でも本調査を行っていることなどから、今回の開発地全体に遺構が展開していることが考えられた。遺構の保存について原因者と協議した結果、建物部分の基礎工事が遺構に与える影響は軽微と判断したが、合併浄化槽設置部分への影響は避けられないため、本發掘調査を実施し、記録保存を図ることとなった。

【2】調査方法

掘削機および人力で実施した。

表土を掘削機で剥ぎ取り、遺構検出面から調査員と発掘作業員により掘り下げを行い、図面及び写真撮影により記録を行った。

【3】位置と環境

神埼市神埼町城原に所在する八子六本黒木遺跡は弥生時代と奈良時代・中世の散布地であり、今回はその遺跡の中央部に位置する。

調査地が立地する周辺では本調査をしており、調査の結果から弥生時代から中世の遺跡が認められている。



第121図 トレンチ配置図 (1/1,000)



第122図 土層図 (1/30)



写真78 調査前風景 (北西より)

[4] 遺構と遺物

現況面下1.4m前後で黄褐色土の地山を確認し、同面で不明土坑、小穴を検出した。SX210Iはトレントの東側に広がっており、掘削機のバケットのような掘り方が確認されたため、恐らく近代の擾乱を受けていることがわかる。

○SX210I

SX210Iの規模は、幅0.6m 深さ0.15mで埋土は黒褐色土であった。近隣の遺跡の状況から、弥生時代もしくは奈良時代、中世の遺構であると考えられる。

トレント東側に位置しており、バケットの掘り方を確認できたため、擾乱を受けていることがわかる。

遺構自体は不定形で、二つの小穴と切りあっている。

○P1

調査区の西側に位置し、円形で径0.1m、深さ0.2mを測る。遺物は確認されなかった。

○遺物

弥生時代の壺と高坏の破片が出土した。いずれも破片であり正確な時期については不明である。

[5]まとめ

北側では平成15年度に県道若宮鶴線道路整備事業(11区)に伴い、発掘調査を実施している。(神崎市教育委員会 2005) その際には、弥生時代、平安時代、中世の遺構を検出している。今回の調査では、11区で溝跡が西側に伸びていることがわかつており、その繋がりが期待されていたが、後世の擾乱により遺構上部は削平されていることがわかつた。

残存している遺構も小穴や土坑が複雑に切り合っており、遺物も出土していないことから遺構の性格については判断が困難である。流れ込みで出土した遺物から、恐らく弥生時代の遺構であることが推測される。

今回は調査範囲が狭小のため、調査成果がわずかであった。今後の八子地区周辺の発掘調査の成果を期待したい。



写真79 挖削状況 (北東より)



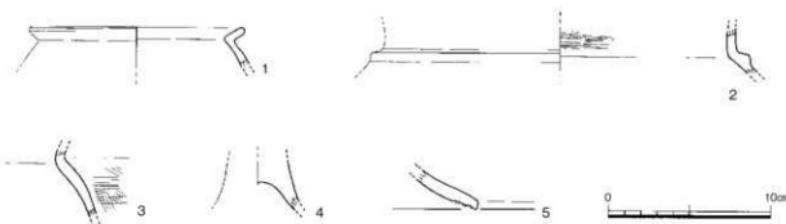
写真80 遺構検出状況 (西より)



写真81 完掘状況 (西より)



写真82 土層 (西より)

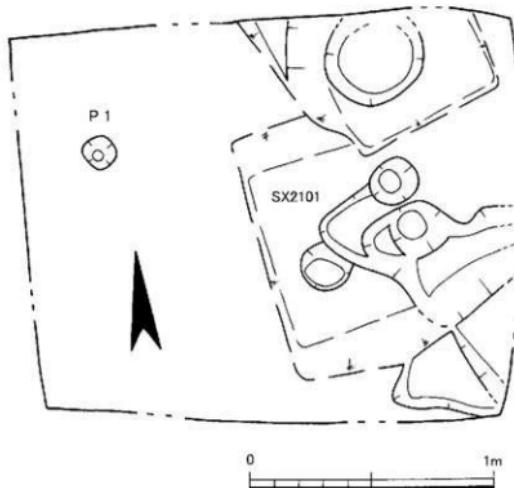


第123図 八子六本黒木遺跡21区出土遺物実測図 (1/3)

第3表 出土遺物観察表

井戸番号	番号	種別	器種	法量(cm) 外径 底径 高さ	船上	色調		調整		備考	登録番号		
						外面	内面	外面	内面				
123図	1	衛生土器	壺	(13.2)	—	—	細緻粒～1mm程度の砂粒多く含む	棕 7.5YR6-6	棕 7.5YR6-6	艶	艶	1901-0005	
	2	衛生土器	壺	—	—	—	細緻粒～1mm程度の砂粒多く含む	に赤い黄緑 10YR7-3	棕 7.5YR6-6	艶	艶、やや艶	頭部付21.7	1901-0006
	3	衛生土器	壺	—	—	—	細緻粒～2mm程度の砂粒多く含む	明赤褐 5YR5-6	に赤い棕 7.5YR7-4	艶	艶	1901-0001	
	4	衛生土器	高环	—	—	—	1mmの粗緻粒少し含む	明赤褐 2.5YR5-6	に赤い棕 7.5YR7-3	澤純	艶	丹塗り	1901-0007
	5	衛生土器	高环	—	—	—	細緻粒～3mm程度の砂粒多く含む	棕 7.5YR6-6	浅黄褐 7.5YR8-3	艶	澤純	澤純	1901-0002

()は薄く欠けています



第124図 遺構配置図

報告書抄録

ふりがな	しないいせきかくにんちょうさがいようほうこくしょ やごろくはんくろきいせきにじゅういちく						
書名	市内遺跡確認調査概要報告書 XIII 八子六本黒木遺跡21区						
副書名	神埼市埋蔵文化財確認調査（令和元年度）の概要						
巻次	第30集						
シリーズ名	神埼市文化財調査報告書						
シリーズ番号	XIII						
編集者名	島佑輔・高柳信敏						
編集機関名	神埼市教育委員会						
所在地	佐賀県神埼市神埼町鶴3542-1						
発行日	令和3年3月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード	北緯	東經	調査期間	調査面積	調査原因
市内遺跡	佐賀県神埼市 市内一円	412104			令和元年度		土地開発 に伴う 確認調査
八子六本黒木遺跡	佐賀県神埼市 神埼町城原	412104	0115	33° 19 36	130° 21 51	令和元年度	約5m ² 事務所建設 に係る 浄化槽設置
所収遺産名	種別	主な時代	主な遺構			主な遺物	特記事項
市内遺跡	散布地 集落跡 城館跡	弥生時代 ～ 近世	小穴 溝 土坑 住居跡			弥生土器 土師器	
八子六本黒木遺跡	散布地	弥生時代 奈良時代 中世	小穴 土坑			弥生土器	

神埼市文化財調査報告書第30集
市内遺跡確認調査概要報告書 XIII
八子六本黒木遺跡21区
 令和3年3月31日
 発行 神埼市教育委員会
 〒342-8601 佐賀県神埼市神埼町鶴3542-1
 TEL 0952-37-3593
 印刷 大同印刷株式会社
 〒849-0902 佐賀県佐賀市久保泉町大字上和泉1848-20
 TEL 0952-71-8520㈹



発掘現場から

文化力

POWER OF CULTURE
文化庁補助事業